

『生命のつながり』

～ひと・地域・自然がつなぐ環境づくりをめざして～

富永小学校では、「しが環境教育リーディング事業」の指定を受け、全校体制で環境教育を進めている。研究2年次の今年度は、地域の歴史と文化・自然、そして人々の暮らしを関連させて本校独自の環境教育に取り組んできた。低学年では生活科、第3学年以上は総合的な学習の時間を中心に教科の中に環境学習を取り入れるとともに、特別活動や学校行事、PTA活動でも環境保全等を意識した実践を積み重ねてきた。

そして、芝生のグラウンドを活かした活動の推奨、FBC花壇経営やゴーヤ・エコカーテンの育成などの栽培活動にも力を入れてきた。

1 授業の中での環境を考える

(1) 第1学年 あきであそぼう

生活科で「秋みつけ」をして、集めてきたどんぐりや落ち葉などを使って、おもちゃ作りをした。そして、幼稚園児や2年生児童、保護者を招待し、遊びを通して交流を図った。

この学習を通し、今まで「見過ごしていた自然」を再発見することができた。

(2) 第2学年 富永たんけん地図を作ろう

校区内を歩き、特徴のある木々や魚の棲む川、社寺を調べて、このことをもとにして地図作りをした。

子どもたちは、自分の身の回りにあるたくさんの自然物や四季の移り変わりによる現象に、改めて気づくことができたようだ。

(3) 第3学年 高月の特産物「丸ナス」を作ろう



第3学年 研究授業風景

地元で「丸ナス」を栽培されている方を講師に招き、栽培方法のノウハウを教えていただくとともに、丸ナスを栽培する思いを考えることにより、郷土を愛する気持ちに一端に触れることができた。

また、研究授業には東京都から講師を招聘し、本校がめざす環境教育についてのご示唆をいただいた。

(4) 第4学年 私たちの川「高時川」

近くを流れる高時川の水生生物調査等を通して、この川の特徴を調べた。そして、長い歴史の中で、人々が高時川にどのように関わってきたかを地域の方からお話をうかがった。これらのことをもとに、今後どのように高時川に関わっていけばいいのかを考えた。

限りある水資源の使い方等について考えることができた。

(5) 第5学年 お米を作ろう

地域で農家を営む方やJAのご協力を得て、米づくりの学習を展開した。米づくりの方法だけでなく、農家が直面する課題や農業に携わる方々の思いについて考えた。

また、収穫した米は学校行事「芳洲祭」で、PTAの協力でおにぎりにして昼食に出したり、自分たちの手で販売したりした。

これらの学習や活動を通して、農業に従事する人々の思いに触れ、同時に物を大切に作る心育おことができた。

(6) 第6学年 土の秘密をさぐろう

さまざまな土壌(肥料の多少、腐葉土の有無等)で作物を栽培しその成長の様子を比べ、栽培に適した土の条件について考える学習に取り組んだ。

花壇経営等で助言をいただいている肥料店の方に

来ていただき、専門的な観点から「環境に良い」土についてお話をうかがった。

この学習をから、後述する「落ち葉拾い」の時に、全校に落ち葉から腐葉土を作ることの意義や環境保全との関連について説明した。

2 花壇経営を通じた環境づくり

本校では、FBC(フラワー・ブラボー・コンクール)に参加し、花作りを通して子どもたちの情操を高めるとともに、人に優しい環境づくりに取り組んでいる。また、一人一鉢栽培や独居老人宅へ届けるサクラソウの栽培も行っている。

花壇のデザインを決めるにあたり、全校から募集したデザインを花・環境委員会で審査して決定する。花の種まき、植え付け、灌水だけでなく、子どもたちは、自主的にプランター洗いや倉庫の掃除等を行い、勤労の大切さを感じ取ることができた。

花壇経営については、PTAの積極的に参加し、季節ごとに各地区の花壇できれいな花を咲かせている。



花・環境委員会による秋花壇に植える花の種まき

3 ゴーヤ・エコカーテンの育成



校舎南側のゴーヤ・エコカーテン

昨年度から、校舎南側でゴーヤをプランターで栽培し、エコカーテンを作っている。今年度は、1人1本の苗を

栽培し「マイゴーヤ」として大切に育てることができた。

南側にゴーヤ・カーテンを作ることによって、校舎の中は過ごしやすくなった。また、実ったゴーヤの実を乾燥させてゴーヤ茶を作り、栽培したサクラソウと一緒に、独居老人宅へ届けている。

4 落ち葉で腐葉土を生成、

そして、地域美化活動

毎年、初冬(今年度は11月下旬)近くの神社の落ち葉拾いを行っている。拾ってきた落ち葉を2年間ねかせて花壇や畑等に使う腐葉土を作ると同時に、地域美化の意識を高めている。

前述したように、今年度は6年生の子どもたちに落ち葉拾いの意義をグループごとに説明する場を設けた。このことにより、環境保全等を意識した活動を展開することができた。

5 芝生グラウンドの手入れ



全校児童による芝生苗の植え付け

本校の運動場は全面芝生であり、暑い夏も温度の急激な上昇を防ぎ、屋外での運動も気持ちよく行うことができる。

この芝生を維持管理していくために、朝のトレーニングの後やPTAの環境整備作業、また職員作業の中で除草や芝生苗の植え付けなどを行った。

学校名	長浜市立富永小学校
住所	長浜市高月町井口160番地
電話番号	0749-85-2080
E-mail	tominaga-sho-k@city.nagahama.lg.jp